

おやつのかん3 -ちょっとひとやすみ-

ーい・ろ・はー

NO. 113



秋は、いろいろなイベントがあったり、先を考えるような空気があって、今日に目が向きにくくなったりしがちです。先々への心配で、今日が疎かになってはいけませんね。明日つくかもしれない力で今日は過ごせません。今日が明日を作ります。生活も遊びも“いつも”があると力が湧いてきます。今月は、子どもの育ちや働きかけの基本について、改めて整理してみたいと思います。

○人は人の中で過ごしていきます。安心・安定の人のぬくもりがいちばんです。

スキンシップは生まれて最初の遊びです。そこでの“やりもらい”が「伝える＝伝わる」の原点です。苦手そうに見える子も、心のスキンシップが嫌いな子はいません。小さいうちに、たくさん経験して、学校に行くようになったら、少しずつライトにしていきましょう。

○身体が心を育て、心が身体を動かしていきます。

身体の軸がしっかりすると、「見る」「聞く」「触れる」が上手になってきます。「見たい」「聞きたい」「触れたい」という気持ちが身体を動かします。日々過ごしていく基本です。

○子どもは遊びに全部の力を注いでいきます。

子どもは全てが遊びです。そして、身体を操る力、工夫する力、集中する力、イメージする力、関わる力、一緒に楽しむ力、伝える力など、全てをそこに動員してきます。遊びが育ちの中心です。

○子どもの行動には必ず意味があります。

たとえ好ましくない行動だとしても、子どもは何かを伝えたいはず。 「ダメ」だけでなく、伝えなかったことは何かを察し共感していくと、上手なコミュニケーションが少しずつ育っていきます。小さなサインを見逃さないようにしたいですね。

○ことばは、“コミュニケーション”“理解”“発信”の3つの要素で考えていきます。

生活の中で“わかること”が増えてきて、そこに言葉が添えられ“わかることば”が増えていきます。人とのやりとりは、表情や仕草、ジェスチャーなどの力が先に育ちます。その豊かさは誰でもとても大切です。そして、コップから水がこぼれるように、話しことばが出てきます。

○『好き』をたくさん作ることが大切です。

“好きな遊び”“好きな人”“好きな場所”が増えてくると、過ごすチャンネルが増えていきます。楽しみが膨らみ、いろんなことをポジティブに吸収したくなります。学びの土台がそこにできます。

○「できる」「わかる」「楽しめる」を増やしながらか、「上手く過ごしていく」力を。

小さいうちは、自分の中のメニューを増やして、いろいろな経験を重ねていくことが大切です。学校に通うようになると、世界が広がり、いろいろな人と出会うようになります。上手く過ごしていく力が少しずつ求められるようになります。「いつでも」「どこでも」「誰とでも」が目標です。

○その子、そのご家庭の“いい湯加減”で。

目指したい目標はあっても、目指さなきゃいけないゴールがあるわけじゃありません。「こんな感じでいいんだよね」と思えたり、話せたりできていれば、それが我が家の“いい湯加減”です。

進む時は上を向いて、暮らす時は足下を見て、また一緒に歩いていきましょう！（R7. 10）K

